

あさか訪問通信



胃ろうについて 経管栄養中の口腔ケア



R6.8月号

8月に入り厳しい暑さが続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか？胃ろうは、認知症や脳梗塞をはじめとした脳の病気の他、神経、顔、喉に疾患がある人が対象で、口から直接食べることが難しく、誤嚥による肺炎を招くおそれがある場合に行われます。

胃ろうのメリット・デメリット

★胃にカテーテルを取り付け、直接栄養を摂る方法

メリット

- ・入浴可能
- ・栄養素が確保しやすい
- ・洋服で隠すことができる
- ・口からも食事できる
- ・誤嚥性肺炎の予防
- ・運動やリハビリへの影響が少ない



デメリット

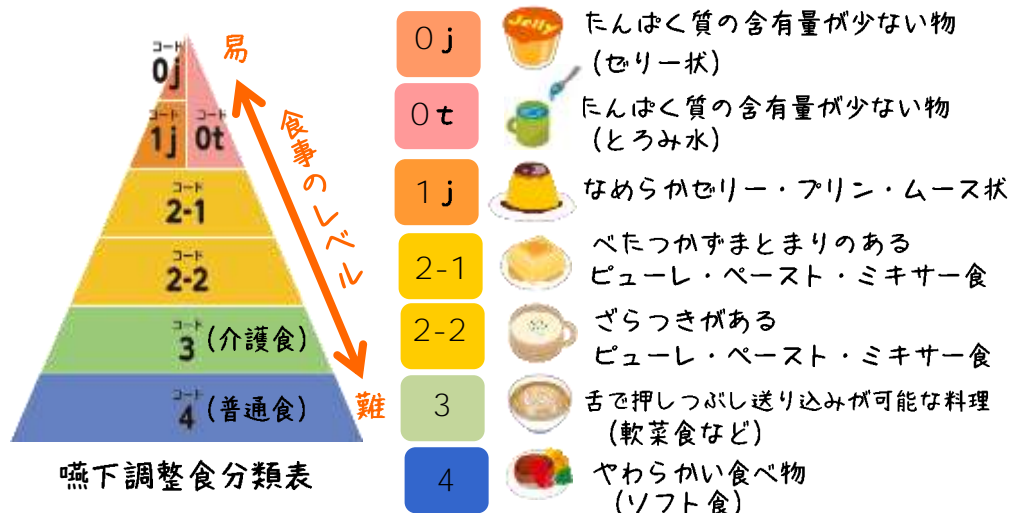
- ・手術の必要がある
- ・口腔ケアが必要
- ・逆流することがある
- ・合併症のリスクも



胃ろうは口から食べることができなくなった時、胃から直接栄養補給方法の一つです。欠点が全くないという訳ではありませんが、手術をしても口から食事することは可能です。口からの食事を再開する為の嚥下訓練やリハビリにも適している栄養補給方法です。食べた物がお腹から出てきてしまうことも基本的にはありません。

嚥下食の分類

飲み込みやそしゃくといった嚥下機能の低下がみられる場合に、嚥下機能のレベルに合わせて、飲み込みやすいように形態やとろみ、食塊（食べ物が口の中でひと塊になること）のまとまりやすさなど調整した食事のことをいいます。



自身に合ったお食事なのかな不安な方もいると思います。当院では、摂食・嚥下（飲み込み）を専門とする歯科医師が在籍しております。内視鏡検査は勿論のこと、お食事のアドバイスも可能です。お気軽にご相談ください。

経管栄養中の口腔ケア

口から食べていなければ、口腔内は汚れていないだろうから、口腔ケアは必要ないと思われがちです。経管栄養中は口でそしゃくをしないために、唾液の分泌が減って自浄作用が低下しかえって汚れが付きやすい状態になってしまいます。口の中にはもともとたくさんの細菌がいます。痰など絡み合っ**て口臭の原因や肺炎のリスクも高まります**。口の中をきれいにすることだけでなく、**唾液の分泌を促したり、口の周りの筋肉を刺激して機能を低下させない為にも口腔ケアは大切です**。訪問歯科をうまく活用しましょう！